年中無休刊
京城日日新聞

殖民地概說（四）

拓殖局編

第六章 殖民地の產業

第一節 農業

第四 關東州

一、林野概況 關東州の地一般に禿山にして森林を存せず、僅かに村落の附近に楊、柳、楡等の散在するを見るに過ぎず、此の故に日露戰役當時遼東守備軍司令部に造林の必要を認め之が施設を開始し次で關東都督府（關東廳）に於ては風致林及水源涵養林の……

……では東北長白山系の一部地方の供給地と見るを得べし、而して南滿各地に輸入せらるゝ木材は日露戰役後、內地材一時首位を占め米材之に次ぎ……

滿蒙鐵道豫定線變更並に新線設定に關する意見（一）

亞洲協會長 田中舍身

地方制改正（十五）

第四章 監督

第四十九條 左に揭くる事件は朝鮮總督の認可を受くへし

一 夫役現品を賦課する事

二 使用料手數料を新設し增額し又は變更する事

三 起債を爲し起債の方法、利率及償還方法を定め又は之を變更する事

四 繼續費を定め又は變更する事

五 特別會計を設くる事

六 不動產の處分に關する事

七 有給吏員の退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料及其の支給方法を定むる事

八 歲入歲出豫算を以て定むるものを除くの外新に義務の負……

政界茶話

鍾路に立ちて（二）

叩天

新刊紹介

内外電報

伊國勞働者赤化す

伊國勞働者は漸次赤化し勞働者はヴェニス海軍工廠を占領し事態重大に赴きつゝあり（羅馬來電）

メソポタミヤ形勢

依然として險惡

英國陸軍省公報に曰くメソポタミヤの形勢は既に緩和したる地方に於ては稍良好となれるもユーフラテス河とハンマー湖間の地方は未だ公然叛亂を起さむとせる方面は益々緊張し七、六、來り同附近の人民は其の影響を受け形勢益々惡化しつゝあるを以てミシラツイクフヒヤ人は積極的反對神聖戰爭に召集され英國政府の官吏は飛行機にて辛くして同地を脱し災厄を免れたり（倫敦來電）

ウ將軍恢復疑問

宣戰に依ればクリミヤ戰局に於けるウランゲル將軍がクリミヤ半島に於ける敗北は恢復し得るや否やに就ては意見一致せず（倫敦來電）

排日問題の前途

結極移民禁止聲明乎

（前略）……より逐一したる報道に非されども政府意向の觀測する所に依れば國務省にコルビー氏は加州知事スチーブンス氏との間に加州排日問題に關し一の試驗的協定成立せりとの説あり之に依れば米國務省は日本をして今後絶對に移民を送らしめむる契約を制定すべく加州知事スチーブンス氏は來る十一月行はるべき一般投票を不成立に終らしむべく盡力すべしといふに在り而してコルビー氏は米國中央政府が憲法上加洲排日運動に干渉すべき何等の權利なきことを十分承認するも向も干渉すべき日米間の新條約は結局自己の盡力に俟たざるべからざるを信ら居れり又コルビー氏は幣原大使と協議の結果日米兩國の協定は十一月迄に成立し該協定に於て米國が日本より今後加州に移民を送らずといふ保障をなすべく信じ居れりと尚一説に依ればコルビー氏と幣原氏との間には既に協定成立し日本政府の批准を俟つのみなりしつゝのいふもあり（華盛頓來電）

排日一般投票阻止

米國々務省は十一月の大統領選擧以前に於て外交的交渉に依り日米兩國間に滿足なる解決を見たりとの確定的際期を爲し之に依りて加州に於ける排日一般投票の結果を無効ならしむる手段を講ずべしと信ぜらる（紐育來電）

獨汽船二百萬噸引渡

ジーオー汽船會社インチケープ氏は賠償委員會を代表して英國に割當られたる獨逸汽船を英國船主に譲り渡しの處置を執りたり其中二十四隻の客船と百六隻の貨物船より成れる二百萬噸は既に獨逸より引渡しを受けたり（倫敦來電）

臨時民國議會設立

其の筋著帳に於て各種政黨聯合會議行はれつゝありしが今回三代表會議に於て左の如く決議せり即ち治海州の選擧法に依り代議士を選擧し極東統一政權國民議會成立する迄臨時役員より兩國民議會を設け之に一時政權を委ぬること而して其の臨時議會は市民農民ブリヤード民族より各代表一名ユバロクより一名を選出することゝなりしが代表者は三日の決議を以てセミョノフを訪問せり（哈爾賓來電）

露支通商交渉進捗

チタ商議及ブラゴエチエンスク各政府を代表せる露國委員は更に支那と通商關係を開始する目的を以て去る三日哈爾賓より北京に到着せりウエルフネ政府代表者委員は莫斯科政府を代表せるもの如く今日迄の所通商條約に對しては多く進捗を見ざるも外交部一委員と非公式に交渉せしむる爲委員三名を任命し既に數次會商を重ねつゝあり（北京來電）

南北和議調印終了

孫文唐紹儀態度强硬

確聞する所に依れば廣東軍政府代表者は既に北京政府當局者と和議條件を協定し調印を終り廣東に打電して速かに公布するの運びとなり……

新總理改革意見

論功行賞陞授爵

公爵 西園寺公望
子爵 牧野伸顯
男爵 加藤友三郎
男爵 山本達雄
男爵 松井慶四郎

伯爵 珍田捨巳
子爵 高橋是清
男爵 田中義一
男爵 伊集院彦吉
男爵 幣原喜重郎

（東京來電）

新要塞建設開始

要塞建築實行委員長被仰付
陸軍中將 松井庫之助
陸軍中將 井上幾太郎
同 金谷範三
陸軍少將 緒方支勝一
同 谷田繁太郎

要塞建築實行委員被仰付
工兵大佐 古田菊藏

幹事被仰付

聯合運動打切

造船工新賃銀

齊多秩序回復

滿鐵追加社債

辭令

東拓支店昇格

道知事會議

道知事に對し總督指示（二）

財務に關する件
技術事務指導方針

第八 地籍の維持
第九 酒税の取締
第十 驛屯土の賣拂處分
第十一 産米の增殖

三省銀行擴張

新艦建造問題

産業に關する件

朝鮮にては戸口調査

國勢調査は施行せず
青木庶務部長談

一、國勢調査法令の廢止並其理由

一、朝鮮で行ふ戸口調査の內容

一、鮮內內地人戸口調査と內地國勢調査

礦業界救濟急務

久原の休業を動機として動搖來

水利資金利上

東亞紙賣收計劃

内鮮連絡荷物

着拂廢止

保護救濟策

客月外國貿易

三港對鮮貿易

地方課長會議

人事

▲岡本桂三郎氏（道高等課長）七日午後七時二十分發東京へ八日赴任の豫定
▲川村竹治氏（警保局長）六日夜歸東
▲東陸軍少將（支那公使館附武官）入京中の處同上東上
▲大内要氏（京畿道理課長）は五日釜山に出張中の處六日夜歸任
▲赤池濃氏（外務局長）豫て病氣中のところ其後の經過良好にして本月中旬內地地方官會議に列席の爲め近く東上の筈にして終了後……

風塵錄

▲獨逸でも佛蘭西でも又は英國でも石炭の缺乏に一番困つて居るらしい、從うて凡ての諸工業品が非常に高い、獨逸では今でも二十割三十割の高値で、生活難の聲は到る處に高い戰前の獨逸に復活することは一寸望まれないと云ふことだ▲不景氣の風は東京の自動車の上にも現はれ東京自動車會社は車數を減じて居るが、其れでも一ケ月三萬圓の損失だと云ふことだ▲之に反し米國は不景氣と云ふても戰時成金國の景氣は今尚ほすばらしいものだと云ふ、是れも戰時成金國の一たる和蘭の如きも今尚ほ景氣が善くて七錢五厘の電車賃を拂ふのに十錢を投げ出して釣錢を取らないので其釣錢丈は車掌のポケツトに入るソコで車掌先生一日の別收得は本給より多いので、東京などのやうに電車の車掌がストライキをやるやうな事は滅多にないと云ふ話だ▲先日東京地方裁判所の檢事室で入田照治と云ふ男が金山檢事を訪問するや否や短刀で重傷を負はせた、裁判に關して遺恨を含んだと云ふ説と精神病者だと云ふ兩説がある、其れと二三日隔てゝ今度は外務省通商局で藤森課長が西山佐六と云ふ訪問者に短銃で打たれ重傷を負ふた事件が起つた、此西山と云ふ男は先年支那で支那人から傷つけられ損害賠償を持ち出して居るのに、外務省が碌と力を入れて呉れないと云ふことを憤慨しての結果だと云ふ話だ、何れにしても世の中が物騷になつた、人心の險惡化は朝鮮許りでは無い

株式界

七日算定値段

京取 二二、〇〇
拓新 一四、〇〇
東拓 一六八、〇〇
實銀 八、〇〇
殖銀 一二、〇〇

京株市場出來値（七日）

出來高

六日後場 七日前場 合計 二、九七〇株
累計 二七、一一〇株

内地人小使募集

京城日日新聞社

仁川期米特電

九月七日前場

宮林泰次商店

京城府本町二丁目

仁川期米特電

九月七日後場

各仲賣店

仁川米豆取引所仲買人

東京期米特電

九月七日前場

古開豐記商店

京城株式現物取引市場所屬仲買人

大阪期米特電

九月七日前場

有田長

京城株式現物取引市場所屬仲買人
九五商會

九月七日後場

京城日日新聞社
仁川支局

滯京中なる各道知事の虎疫談

各道共に警戒大に努めた 大體を通して海岸が危い

本年のコレラは頗る猖獗を極めたが其の防疫費は莫大なもので在る……と共に各地方道知事の……の苦心は一通りでなかつた

今や段々と終熄して來た

……防疫の苦心談を滯京中の各道知事に聽いて見た先づ全羅南道元應常知事の談に依れば全南は何樣濟州島にも千名のコレラ患者が出來たので殆ど他の十二道の患者數と同一である何樣島民は頑迷であつて容易に防疫官を入れないと共に……

一人の患者も

出さなかつた……

海岸線防備

をやれば大過なしと云ふ事が判明する次第でコレラと海との關係は充分察知されるものである

馬鹿々々しい骨頂

鮮人の見た總督政治の一年間 井蛙の寥言はモウ聽き倦いた

政治を施して

會議に於て

三百年間

朝鮮教育界の遲緩

全道に教育研究會の必要 全南で既に實行してゐる

亥角知事の名案

朝鮮各道に於ける學校教育の素質が從來より稍惡くなつたと云ふ評判が有ると共に學校職員の善良なものは内地へ歸つて了ひ新しく内地から來るものには質の良くないものもあると云ふ次第で……

聯絡

がなく各自の研究機關が完備してゐないと云ふ有樣で……

成績

緊張

交換

体給

強制

一道

系統

京城神社へ三千圓の寄附

銀行集會所より

有髮の尼

禪堂に珠數つまぐる

日沒の影坊子と綽名される瘦せ方

起き上つて 水色の明石縮

物心づいた 時分から紅燈

智に働けば 角が立つ情に

根本問題

食糧不足

警察機關

を擴張した……

結構で有つた。

惡疫發生を

見ず……

列車や機關車を盜み去る

米鐵道從業の怠業振り

久邇宮御渡臺

武徳會總裁の御資格にて

兩陛下の御還幸期

謎の鍵

(一) 一記者の閻魔帳より

成金の家庭に纏はる犯罪の

拐帶犯人 清水に對する各方面の人物評

工夫二百餘名結束

色情の爭から 鮮人工夫射殺さる 郡會議員一家を襲撃し

鮮内

一堂

泣面に蜂

火の消えた如な鎭南浦の昨今 製煉所の休止は

美人連何んで打つて出でざる

京城藝者諸君へ

京城藝者界の美人株の蝶々、京發のも、美人たること衆評一致だと高く構へて居るのか、今の世は何でも廣告が第一だ、……

十美人投票第九回開票

第一回豫定締切

優勝者照葉、鶴千代、丸子 惜しくも破れた多美三 新顏を以て埋まる新戰場

伊達清、國龍の潛勢力

第一回豫選締切當日七日午前は拾……

御斷り

第一回豫選 締切開票

九月七日正午迄

豫選當選者

一三六八票	京高砂	照葉
一〇〇一票	新文の家	鶴千代
九一四票	東〇丸	丸子
八五一票	京いちよ	多美三
七二五票	新千代の	千代吉

同次點者

第一回豫選入選者

一等 京城券 高砂 照葉

二等 新券 ふみの家 鶴千代

三等 東券 〇丸 丸子

御注意

第一回豫選締切

九月七日正午

第二回豫選締切

同月十五日同

太平町萬歲騷の張本

保安法違反で送らる

▲女給仕數名入用▼

京城日日新聞社

兒童品評會を九大で計劃

標準を作る爲め

秋季演奏旭節會

駈落藝者

(第三種郵便物認可)

判官照手姫 (六十八)

賊が娘を背負つて

ない事は致しますけれど、

たもの、兩眼を閉ぢ、手を…

首さし延て覺悟の體、庄司は呆れ…

首を傾けて聞いて居りましたが

「全く其れに相違ないか」〇「聊

頭目盗賊はございません」庄「左程

の暴致を惜んで其れを許さうと思ひ

ふ名義は宜いが、左様な事は一

の武士のする事だ、貴様達の様

べき事ではない」〇「然らば何とす

云はれるが、拙者とても首は

る者の末でございます」庄「何の

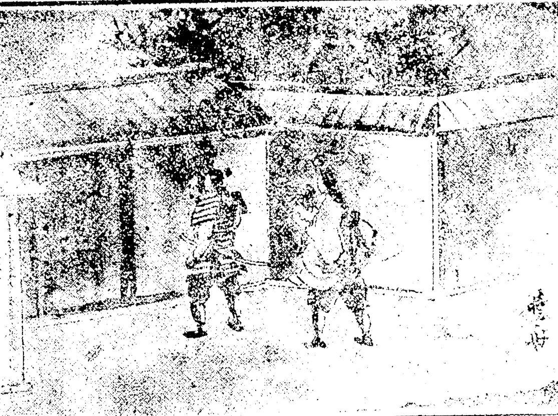
末だ」〇「拙者は…

松岡心の根據で、赤松次郎閉助と

いふは拙者でござる」庄「何赤松

閉心の末裔次郎閉助だと、赤松閉

心といへば世に聞へた者だが、其



…いた娘か…此の近所では、…して居ります」庄「…は矢張り娘の抜け穴…抜けて此處…したものと見える、ドレ…れて行つてやらう」次…刀を取つたので、おきよは「アト」と聲を擧げて逃げに掛る、庄「何に、駄つて押さへ」庄「イや娘心配するな、お前も耳があるか、聞いてもあらう、目があるから、此の體を見えるであらう、賊なれども決して此の次第を縦に勝手な事をしてはなりませんぞ、其の代り抜け道はチヤンと云の家へ送り届けてやる」きよ「エイ有難う存じます私は全く賊に人身御供に上がる事とのみ心得て居りました

末孫の次郎閉助などといふ名は拙者今まで聞いた事がない」次「シテ貴殿は何れの御方でござるか、どうか御名乗下さるやう」庄「拙者は當國の國小栗の庄司小次郎助重殿の郎黨池の庄司助長と申する者、其の志は同じでも汝の如き賊を働く者ではない、只領民を苦しめ、金銀を奪ひ、人の子を弄ぶ盗賊ならば命を縮めてやらねばならんが、兎も角も名家の末の者ならば今度丈けは赦し遣はす、其代り以後は決して賊を働らかぬといふ事を拙者に誓へ、第一人の大切なる娘を人身供養に差出させ、それを弄ばうなどゝは言語道斷、過ちを悔ひたとあらば此の娘を拙者の木村の丈作方まで届け遣はすに依つて其方案内致せ」次「誠に恐れ入りましてございます、小栗一統が隣々矢野の賊ひ破れてチリ〲になつたといふ事を承はつて居りましたが、拙者も其一人でございましたか」庄「ウム、何か此の先の所に賊の跡のやうなものがあるが、彼れは何だ」次「左様

庄「今後の心得にもして置け、人身供養といふ事があるべき謂の者ではない、何神かに知らんが、あらば聞き給へ、神は非禮を受けずといふに、斯る無禮を働く者を罰せず、良民を苦しましめし事だ以て其意を得ません、今後は何卒斯様な事のなきやう、良民を御守り下されたい、サア次郎閉助來い、しかし女を歩かして行くは可哀想だ」次「如何がいたしたら宜しうございます」庄「背負つて行け〱」次「エイ私が背負ひますか」庄「厭だと、いふか」次「イエ背負ひます〱」赤松次郎も斯うなつては仕方がない、散々頭を掻られて、今度は女を背負ひて山を下る後から庄司がノツソリ〱尾いて參る、行きつゝ先は稻木村の丈作の家でございますが、隣子を見れば寂然として人聲一つ聞えません何しろ可愛娘を人身御供に上げて、今頃何うなつて居るかと親も兄弟も心配の最中でございます、此人身御供と申す事は、昔は能くあつたものと見えまして、現